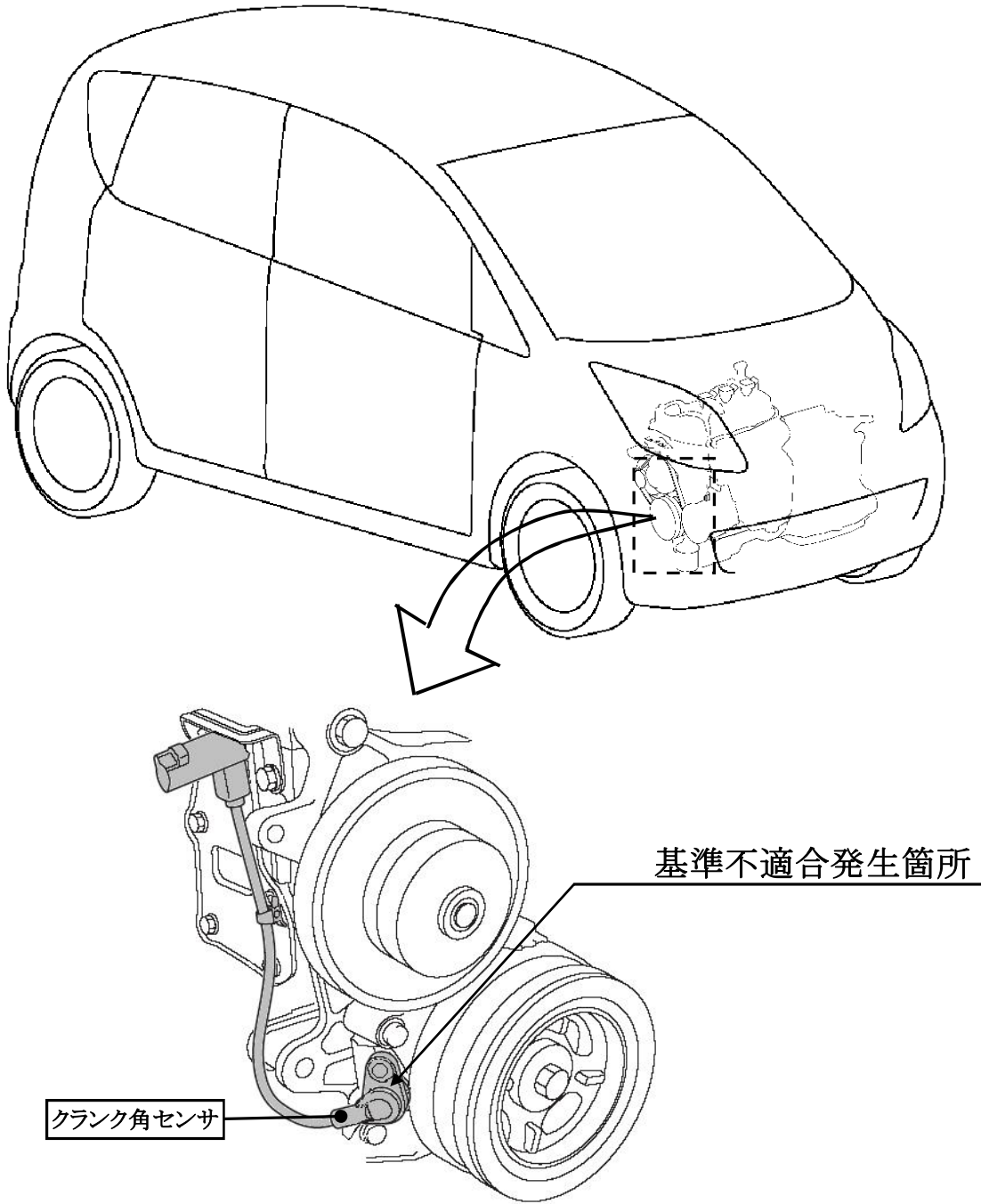


改善箇所説明図



エンジンのクラック角センサにおいて、内部コイルの耐久性が不足しているため、低速ギア使用による全開加速走行など、エンジン回転数が高い運転を繰り返すと、クラック角センサに過大な振動が加わり当該コイルが断線する場合があります。そのため、走行中にエンジンが停止する、あるいは、エンジンが始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

- ①全車両、クラック角センサを対策品と交換する。但し、部品の準備に時間を要することから、部品が供給出来るまでの暫定措置として、エンジン制御プログラムをエンジン最高回転数を下げる仕様に書き換え、後日クラック角センサを対策品と交換し、エンジン制御プログラムを元の仕様に書き換える。
- ②全車両、クラック角センサを対策品と交換する。

注: は交換部品を示す。

識別 : 運転者席ドアチェッカーのボデー取付け部下側に黄色ペイントを塗布する。